

## まちづくりと下水道インフラの未来について

### コンパクト、ネットワーク+スマートシティー政策の展望 2050

西本技術事務所 技術士 西本 和正

上下水道部会は新型コロナの影響で 4 月から講演会を休会しておりましたが、これまでのように会議室での講演会の開催が困難であるので、Zoom によるリモート例会を 10 月から開始し、この講演が最初です。

#### 1. まちづくりと都市計画

##### ①都市計画とは

(旧) 都市計画法制定 1919 (大正 8 年)、(新) 都市計画法制定 1968 (昭和 43 年)  
目的は同じで住みよいまちづくり、都市づくり (いつまでも住みつづけたいまち)

##### ②まちづくりの目的

都市の健全な発展と秩序あるまちの発展整備で、必要な法整備を行い守るべきものは守る。

##### ③日本のまちづくりの変遷

1868 年から 2011 年まではすべてについて法律を作り、国が政策的に行い規制型で厳しい。

##### ④世界と日本のまちづくりの変遷

世界では:1973 (昭和 48 年) 初めてコンパクトシティーが提唱された。当時の考えは高度利用を図るため高いビルで生活を行い、コンパクトに生活をする。

2000 (平成 12 年) スマートシティーが地球温暖化、低炭素化の中で提唱され、さらに、スマートコミュニティーがデンマークやスイスで言われている。

日本では:2007 年にコンパクトシティーが明示され、2010 年にスマートシティー構想が示された。

2018 年から 2020 年の間に国交省や内閣府から実現に向けて、創出、展開、策定を指示。

#### 2. 日本のまちづくりの現状と課題

##### ①国土のグランドデザイン 2050 で公共施設等の総合管理計画を示している。

- ・急激な人口減・少子化では総人口は 2010 年 1.3 億人、2050 年 1 億人を割る。
- ・現在の居住地の 6 割以上の地域で人口が半分に、このうち 2 割が無居住地化し「地域消滅の危機」
- ・異次元の高齢化の進展

##### ②巨大災害・インフラの老朽化

都市圏直下型や南海トラフ地震が迫る中で、これら巨大災害は国家存亡の危機であり、計画的な管理が求められており、国土政策レベルの対応が必要。

#### 3. まちづくりの持続可能性の追求

##### ①コンパクト+ネットワークの意義と必要性

- ・質の高いサービスを効率的に提供
- ・新たな価値を創造→新しい集積生産性を高める都市構造

##### ②スマートシティーの意義・必要性

#### 4. 総合的な計画づくり

①SDGsとは持続可能な開発・国際社会目指している解決すべき17の目標(2030)

②SDGsの動き 2000 ミレニアム開発目標

③SDGsの目標 11、都市と人間の居住地を包括的安全かつ持続可能にする

(要約：西澤 忠城)